

「なら食と農の魅力創造国際大学校」周辺の賑わいづくりへの支援

【担当省庁】 農 林 水 産 省

奈良県における取組



令和2年度第1回募集において本件事業を採択いただいたことに心より感謝します。

令和3年度についても、引き続き十分な財政支援をお願いします。

農に強い「食」の担い手（シェフ）を育成する研修拠点として、奈良県農業大学校を改編し、「なら食と農の魅力創造国際大学校（通称NAFIC：ナフィック）」を平成28年4月に開校。

フードクリエイティブ学科
＜新設＞

農業・農作物に関する知識を持った「食の担い手」を育成

アグリマネジメント学科
＜旧農業大学校の教育課程を再編＞

高度な農業技術があり農業経営センスの優れた「農の担い手」を育成

*各学科とも 定員：20名/学年 修業期間：2年

◆「食」の実学教育を行うオーベルジュを学内に併設

※オーベルジュ（郊外や地方にある宿泊施設を備えたレストラン）



「オーベルジュ・ド・ぷれざんす 桜井」

レストラン40席、
ステージキッチン付きバンケット42席
宿泊：スイート2室・ツイン7室

■開校による効果

- ・令和2年3月に第3期生が卒業。
卒業生は、県内でカフェやオーベルジュを開業するなど、飲食業界で活躍を始めている。また、大学校の支援制度を活用して、海外研修で腕を磨き、帰国後、開業準備をしている者もいる。
- ・併設のオーベルジュは、県産食材を使ったメニューが好評。
開業からの1年間で2万人を超える来客があり、現在も盛況が続いている。

【関係市町村】 桜井市

平成28年4月に開校した「なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）」とオーベルジュの機能や立地を活かし、今後新たにセミナーハウス等を設置。「食」と「農」の魅力発信により地域の交流人口の増加を図り、中山間地域の活性化につなげる。

NAFIC周辺の賑わいづくり全体計画（案）

- NAFICセミナーハウス
- 農林業体験・農村との交流
- 最新技術を用いた農林業の学習



セミナーハウス(イメージ)

NAFICセミナーハウスの整備概要

◆セミナー棟【交付金対象】

…2階建(延床面積 1,500㎡程度)

1階:セミナールーム 70人用 1室、35人用 2室

2階:ゲストルーム 10室程度

【用途】

- セミナールーム:「食」や「農」のセミナー、コンテスト、研修会等の開催
- ゲストルーム :セミナー等の催しの参加者の宿泊

◆シェアルーム棟【交付金対象外】

3階建(シェアルーム等を整備)

セミナー棟は、農村景観などの農村資源を活かし、地域の活性化を図るものであるため、農山漁村振興交付金を活用し、整備

- ① 延べ床面積(1,500㎡以内)
- ② 宿泊室数(10室以内)

国にお願いすること

【要望】 **農山漁村振興交付金による支援**

建築予定年度 : 令和2~3年度

セミナー棟建設費 : 8億8千3百万円

補助金要望額 : 2億1千4百万円

(内訳: 令和2年度2千8百万円、令和3年度1億8千6百万円)

(上限事業費 29万円×1,500㎡×1/2)

【県担当部局】 食と農の振興部 豊かな食と農の振興課、なら食と農の魅力創造国際大学校